

Ambora Extract

(アンボラエキス)

炎症、赤みに多角的に機能する、マダガスカル産希少エキス

【特長】 固有種の宝庫、マダガスカル島に生息する希少植物エキス
複数の炎症因子にアプローチするマルチな抗炎症効果
過剰に増えた微小血管を抑制し、痒みを抑制

【コンセプト】

アンボラ(表示名称:タンブリッサトリコフィラ葉エキス)とは、インド洋の西を主として生息する Tambourissa 属の 1 種です。その地理的な背景から多くの生物が固有種とされる希少種の宝庫、マダガスカル島。**アンボラ**もその例外ではなく、そのほとんどがマダガスカルに生息しています。



アンボラの樹皮は古くより創傷治癒や赤みを抑えるヘルスケア用途に使われていたほか、ヒトの手ほどの大きな葉は口内炎の治療にも用いられてきました。この葉を利用したのがアンボラであり、地元マダガスカルの人々が植生に与える影響を少なくするよう、一枚一枚を丁寧に「**手摘み**」で集めています。その後、現地で厳しい品質検査を受け、合格したもののみを南フランスのバイエルの GMP 工場にて高純度精製して最終的にエキスとなります。

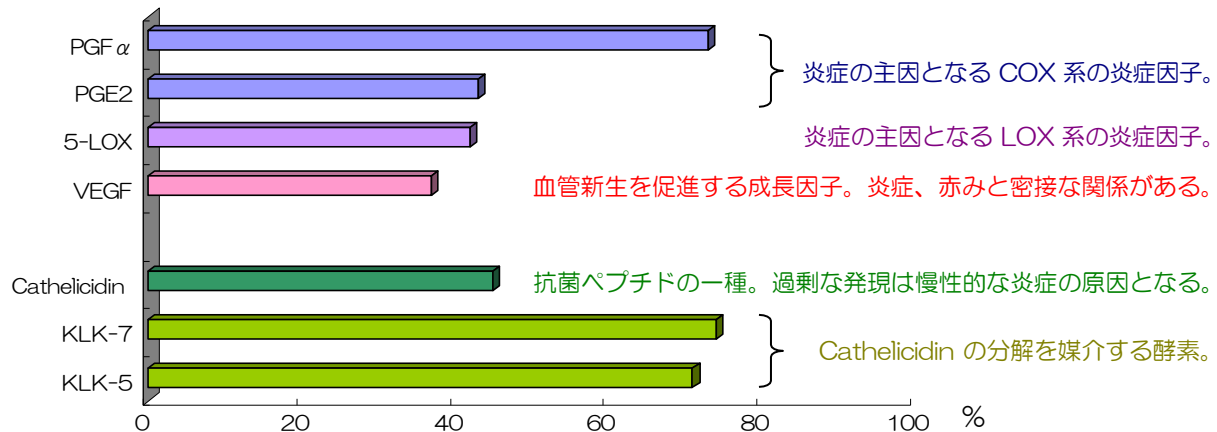


一方で、30 年以上に渡るマダガスカル島への貢献により、製造元バイエル社 Serdex 部門は国連組織UNCTAD 主導で新たに創設されたフェアトレード組織 **UEBT (The Union for Ethical BioTrade)** に営利組織として初めて加入を認められました。原料を購入することは、貧困なマダガスカル島の人々に公平で平等な利益の配分を約束し、暮らしを支えることに繋がります。購入する側にとっても、一定の条件を満たすことによりフェアトレード原料であることを謳えるため、国際貢献に積極的に参加する企業としてアピールすることが出来ます。

アンボラはポリフェノールを主成分としており、ルチンおよびニコチフロリンが同定されています。

【効果・効能】

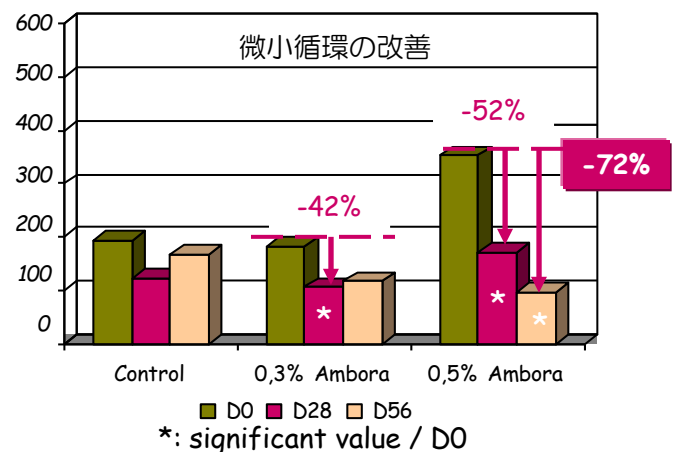
ヒトの皮膚切片を用い、**アンボラエキス**を含む培地上における各炎症因子の抑制の割合を下記に示しました。



炎症の主因となる **COX**、**LOX** の両経路を阻害し、更に赤みの原因となる **VEGF** も適度に抑制した。また、新しい炎症因子として知られる**カテリシジン** (Cathelicidin)、及び、その働きを促進する**KLK-7**、**KLK-5** の発現をも抑制しました。

また、臨床試験を行ない、57名の被験者に対し1日2回プラセボ、0.3%もしくは0.5%の**アンボラ**を含有するクリームを顔全体に塗布してもらいました。

28日目および56日目にレーザードップラー法により**微小循環系**を評価しました。その結果、0.5%含有クリームにおいて、28日目で約半分、56日目で**7割の微小循環の改善**が認められました



このように**アンボラ**は炎症経路に複数のアプローチし、免疫障害の原因となる**微小循環**をも改善することで、炎症を多角的に抑えられます。

【商品情報】

商品名：Ambora Extract (アンボラエキス)
 表示名称：タンブリッサトリコフィラ葉エキス
 推奨配合量：0.1%~1%
 製造元：Seppic SAS

2009/9/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効果効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。